

HTXWの上でXDIRやMovingを!

HTXW

XDIR最新版



■武石秀男

—壁に落書き…

それは、少年の日の思い出、頑固いさんに消される運命であっても、「落書き」は情熱の表現であり、「壁」は貧しき時代の「キャンバス」であった。

「壁」は、その向こう側に空き地という「ユートピア」を隠した夢大存在であり、「壁」をすり抜ける時のときめきは時空を超えようとする少年のロマンの原点でもあった。

「宇宙の果て」は無限発散の、そして「壁」は無限集束の再帰的構造を持つ興味ある対象であり、夢・ロマンの宝庫なのだが、宇宙ブームの影に隠れた現代にあって、「壁」への思いは遠くなってしまったようだ。

HTXW

『HTXW』、(Hyper TeXt Wall:ハイパー・テキスト・ウォール)は「壁」の現代版です。

壁にはいろいろな落書きができます。壁自体も落書きからできています。壁やその上のマウスその他の芸術品(?)は「テキスト Moving」のスプライトで描かれています。

また、壁を開けることにより、アプリケーションの中でいろいろな世界を創り出すことができます。

①テキスト Moving

以前に発表したグラフィック・アニメーション・ツール「Moving」のテキスト

版(こちらが本家)です。

スプライト面は、表示優先順位をもった任意のサイズ・色の矩形領域で定義され、その中はおもに外字で埋められています。

“絵の具”に相当する外字の数に限りがあるので、グラフィックほどの分解能がないのが難点ですが、それなりの豊かな表現は可能です。

スプライト面のフォント・サイズ・表示位置・速度(キー入力待ちのアイドル表示)はコマンド・ライン、または、環境ファイルの読み込みで自由に設定できます。

②アプリケーションの組み込み

アプリケーションの1つである“XLNK”によって、用意されたライブラリ組み込みの取捨選択ができます。

これにより、いろいろな機能やアプリケーションを内部コマンドとして持つこ

とができます。

『HTXW』から起動したアプリケーションは、終了後に『HTXW』に戻ってきますが、終了時「壁ぬけ」を選択した場合は直接終了してしまいます。

*

機能についての詳しい説明は、ディスクに収録の“HTXW.HLP”に書かれています。また、『Moving』について詳しい説明は“MOVING.HLP”に書かれています。

HTXW上のアプリケーション

● XDIR Ver6.15

以前発表した『XDIR』のバージョン・アップ、バグ・フィックス版で、ディスクの中のファイル・ディレクトリを階層的に表示します。

機能について詳しい説明は、ディスク

ハードディスク内を TREE で見る



I/Oプラザ

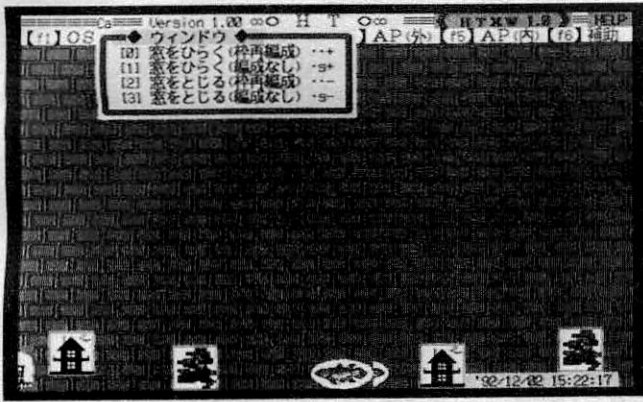
Jan. 1993

100

▶日産とトヨタは来年、乗用車をベースにした電気自動車を出すそうです。お値段なんと3千万円!まだまだ一般には縁遠い話ですね、ところでドイツでは日本の軽自動車を輸入しソーラーカーに改造して走らせてるそうです。1台2百万から4百万ほどかかるそうですが、ここではすでに太陽電池による電気スタンド(机の上に置くやつじゃないよ、念のため)が設置され無料で充電できるとか(驚)。まあドイツの場合は酸性雨の被害がひどいらしく、国をあげて公害対策に取り組んでいるため太陽エネルギーの利用が重視されているようで…、聞くところによると日本製の太陽電池は性能が良いのだそうです。でも日本

画面の下を小物がアニメーションしている

XDIR のプルダウン・メニュー



に収録の "XDIR.HLP" に書かれていま
す

● XLNK Ver 1.00

ファイル名 "XL.EXE" は、今月はデ
ィスク容量の関係で収録できませんで
した。次号以降に収録/掲載予定です。(編)

●アニメーションのための、

「MovingBasic+」インタープリタ

多機能なマクロ命令の書かれたプログ
ラムを実行して、グラフィック動画を実
現 (サンプル・プログラム "XW_MOVE.
ENV") します。

機能について詳しい説明は "MOVE
BP.HLP", および "MOVING.HLP" に
書かれています

開発ツール

● HEX2BIT.EXE

HEX2BIT.EXE<変換元ファイル><変換
先ファイル>

環境ファイル "*.ENV" のフォント部
の16進データを2進データに変換し、イ
メージ的に編集しやすいように変換しま
す。

&h×××××
→&B××××××××××××××××××××

● BIT2HEX.EXE

BIT2HEX.EXE<変換元ファイル><変換
先ファイル>

環境ファイル "*.ENV" のフォント部
の2進データを16進データに変換し、フ
ァイル・サイズ小さくするために変換し
ます。

&B××××××××××××××××××××
→&h×××××

おわりに

『HTXW』は「GUI花盛りの Windows
に対抗して作ったなあ」と、憶測する仲
間もいますが、私自身のマイコン・ライ
フの出発点である「L_{KIT}-16」マシンでの
最初の作品『Moving』の焼き直しだと主

張しています。

『HTXW』は1979年から1980年代初期
のコンピュータに対する純粋な情熱の結
晶で、また、異常に過熱化したコンピュ
ータ社会の中での自分のマイコン・ライ
フの原点を見つめ直す意味で作った作品
でもあります。

アプリケーションは成績処理・図書管
理など実用的なものに時間をかけたため
に未熟なものがほとんどですが、
「『XDIR』のバージョン・アップ (バグ・
フィックスを含む) 版を」との声もあつ
て、心残りながらも発表することにしま
した。

とくに『MovingB+』はアニメーシ
ョン機能を強化した「C言語の香りを持つ
Basic+」インタープリタ型言語として
作成したのですが、仕様が定まらず、中
途半端なものになったような気がします。

今後、他のアプリケーションも含め、
じっくり時間をかけてより満足できるも
のにしていきたいと思っています。

プログラムは添付ディスクに収録



では一般に利用されていると言う話には聞きません。なぜでしょうね？ P.S. 大気を汚さない電気自動車の電気を起すのに原子力発電を稼働させるとなる
と…少々考えてしまいます。

本誌を
読んで
ありがとうございます